

1号様式

記録者 職氏名 主査 堀 田 修 一

平成 25 年第 2 回美里町社会教育委員会議

招 集 年 月 日	平成 25 年 10 月 2 日 (水)
招 集 の 場 所	美里町中央コミュニティセンター第 2 研修室
開 会 時 間	午前・ <input type="checkbox"/> 午後 1 時 3 0 分
出 席 委 員	議 長 熱 海 悟 職務代理者 木 村 強 一 委 員 遊 佐 恭 一 委 員 青 木 エツ子 委 員 檜 山 恒 雄 委 員 早 坂 美名子
欠 席 委 員	委 員 斎 田 正 彦 委 員 小 嶋 恵美子 委 員 岩 渕 薫 委 員 櫻 井 佑 大
職 務 の た め 出 席 し た 者 の 職 氏 名	まちづくり推進課長 武 田 啓 一 まちづくり推進課係長 佐々木 聡 まちづくり推進課主査 堀 田 修 一
議 案 内 容	<ul style="list-style-type: none">・ 議案 1 大崎管内社会教育委員研修会の開催について・ 議案 2 協働教育 (家庭・学校・地域連携) 推進事業の取り組みについて
審 議 終 了 時 間	午前・ <input type="checkbox"/> 午後 2 時 5 8 分

2号様式

熱海議長	<p>定足数に達しましたので、第2回美里町社会教育委員会議を行います。 これから本日の会議を開きます。 開会（午後1時30分）</p>
熱海議長	<p>（あいさつ） 先月27日県社会教育委員研修会が、県庁講堂で開催され4名の委員が出席いたしました。内容につきましては、茨城大学生涯学習教育研究センター准教授長谷川幸介氏さんによる震災復興に向けた社会教育的連携の在り方についての講義でした。社会教育の在り方や社会教育委員として震災後何をすべきかを問うお話しでした。我々にとって良いアドバイスになりました。また、今日の議題の中に、大崎管内社会教育委員連絡協議会研修会があります。今年は美里町が研修会の担当となっておりますのでよろしくお願ひいたします。</p>
武田課長	<p>（あいさつ） お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。 9月の定例議会も終わりました、まちづくり推進事業と生涯学習事業を合わせて審査していただきました。その中で、議員の皆さんから社会教育委員設置事業についてご質疑があり、定例会の協議内容や委員の会議出席状況等についてのお話しをさせていただきました。 今日の協議内容につきましては、2件ございます。よろしくご協議をお願ひいたします。</p>
熱海議長	<p>協議に入る前に議事録署名委員を出席委員の中から2名選出いたします。遊佐委員、青木委員にお願ひしたいのですが。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
熱海議長	<p>遊佐委員、青木委員よろしくお願ひいたします。</p>
熱海議長	<p>では協議に入ります。 （1）大崎管内社会教育委員連絡協議会研修会について事務局説明願ひます。</p>
堀田主事	<p>今年度、美里町が大崎管内社会教育委員連絡協議会研修会の担当町となっております。前回皆さんから頂いたご意見を下に、大崎管内社会教育委員連絡協議会に提出する要項案を作成いたしました。開催日につきましては、平成25年11月7日木曜日、午後2時から開始予定です。会場は、美里町中央コミュニティセンター大ホールを予定しております。内容につきましては、管内各市町が取り組んでいる防災教育の在り方を学び社会教育委員としての資質向上を図ることを目的とし、石巻市在住で社会教育委員を歴任した豊島富美志さんをお迎えし、震災と復興を演題とした講演を考えております。参加対象者につきましては、大崎管内の社会教育委員の皆さんです。講師謝金につきましては、交通費込の20,000円で考えております。</p>

熱海議長	質疑ございませんか。
榎山委員	対象範囲を、社会教育委員以外にも呼びかけてみてはいかがでしょうか。
早坂委員	社会教育委員の研修会ですから社会教育委員限定でよろしいのではないですか。
木村職務代理者	各小中学校に、防災担当主任教諭がいますので呼びかけてみてはいかがでしょうか。
熱海議長	最終決定は、大崎管内社会教育委員連絡協議会理事会の場で決定いたします。理事会には、私も出席いたしますので、理事会にて協議したいと思います。
熱海議長	他に質疑ございませんか。
全委員	なし。
熱海委員	この研修会要項案を、大崎管内社会教育委員連絡協議会理事会に美里町の要項案として提出いたします。
熱海議長	では、2つ目の協議に入ります。 (2) 協働教育（家庭・学校・地域連携）推進事業の取り組みについてです。事務局ご説明願います。
堀田主事	町では、全ての小学校区で協働教育事業「放課後子ども教室事業」を行っております。今年度で6年目を迎え、今月中旬ごろ、事業の検証を行う予定です。 理由として、平成23年度から新学習指導要領が完全実施され、脱ゆとり教育という社会変化の中、教室時間も当初年度より1時間も減ってきており事業の継続についても検討しなければならないという声が行委員会から上がっています。また、コーディネーターやサポーター確保の課題も挙がっています。その他には、小牛田小学校区及び南郷小学校区において、小学校、地域の方々との協働で世代間交流事業を行っております。北浦小学校においても、学校及びPTA、地域のコーディネーターを中心に週末支援事業に取り組んでいます。今後も、世代間交流等の相互支援や協働を通じて、あらゆる世代の人々に活動の場や出番があるかを紹介し、地域を元気にする協働教育事業に取り組んでいきます。
熱海議長	町の協働教育についての取り組みについて説明がございましたが、質疑ございませんか。
木村職務代理者	PTA及び家庭、地域の方々だけでは、社会教育の推進は難しい。行政及び学校との協働は不可欠だと思います。
榎山委員	放課後子ども教室事業において、教室の時間が1時間も減っていると説明がありましたが、スクールバスの時間を遅らせてはどうですか。
堀田主査	スクールバスの調整は既に学校との協議をした結果、スクールバスの時間帯も遅らせております。今現状の時間より遅らせることは難しいと思います。
青木委員	昔から地域で行っていることだが、言葉で表現すると協働教育ということ

	になる。この間、交際交流協会で開催した、アメリカ派遣事業の日本語インタビューの中で、美里の良いところを教えてくださいと質問したところ、田園風景や、お年寄りが良いという回答が返ってきました。お年寄りが良いという答えに微笑ましく感じました。異世代交流が図られていると感じました。
熱海議長	他に質疑ございませんか。
全委員	なし。
熱海議長	終了の宣告（午後2時58分）

会議の経過を記載して、相違ないことを証するためここに署名する。

平成25年 10 月 8 日

議事録署名委員 遊佐 恭一 

議事録署名委員 青木 エツ子 